

令和元年度第6回山城地方学力向上対策会議を開催

令和元年度第6回山城地方学力向上対策会議を開催し、「山城地方学力向上を目指す教育実践交流会」の実施に向け、運営の仕方や役割等の確認を行った他、京都府学力診断テスト（中学校2年）の結果の交流、「家庭学習を充実させる取組」推進リーフレットの内容検討、今年度の学力向上対策会議のまとめと来年度の方向性等について協議・確認しました。



- 1 日時 令和2年2月4日（火）午前10時から同11時30分まで
- 2 場所 京都府総合教育センター 第4研修室
- 3 出席者 山城地方学力向上対策会議構成員19名
- 4 概要

令和元年度京都府学力診断テスト（中学校2年）山城教育局管内小・中学校の結果について交流協議しました。

- 山城教育局管内小・中学校の結果を京都府と比較し、交流協議しました。
- 過去5年間の府との差の推移や平成30年度京都府学力診断テスト（中学校1年）との比較から成果と課題を分析し、今後も組織的な授業改善や基礎学力定着の取組の推進が必要であることを確認しました。

「令和元年度山城地方学力向上を目指す教育実践交流会」（2/4（火）13:00～）の詳細について協議・確認しました。

- 円滑な運営に向け、タイムテーブルや役割分担について確認しました。
- 効果的な交流会になるよう、その内容について協議しました。
 - ・分散会では各市町（広域連合）教育委員会より推薦された9校が実践事例発表を行う。
 - ・交流協議では授業実践の映像を視聴し、「『主体的・対話的で深い学び』を実現させる授業改善を推進する上で、効果的な手立ては何か」を柱にグループ協議を行う。

「家庭学習を充実させる取組」推進リーフレットの掲載内容について、協議しました。



- 前回の学力向上対策会議において確認された内容を踏まえて修正した「家庭学習を充実させる取組」推進リーフレット案について再度、協議しました。

今年度のまとめと来年度の方向性等について協議・確認しました。

○今年度の学力向上対策会議では、昨年度の取組を継続しつつ、「『やましろ授業スタンダード』等を活用した授業改善による『主体的・対話的で深い学び』の更なる充実」をテーマに年度を通して交流協議してきました。

来年度は、小学校で新学習指導要領の全面実施を迎え「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善が一層求められます。今年度の成果を活かしつつ、来年度についても管内小・中学校の学力充実・向上に向けて、情報を共有しながら、交流協議していくことを確認しました。

また「家庭学習を充実させる取組」についても、リーフレットの活用促進、取組交流等、引き続き取り組んでいくことを確認しました。

○学力向上対策会議の協議内容、取組実施状況等についてホームページに掲載することで広く発信してきました。また「やましろ授業スタンダード」等についてはその活用促進を様々な場面で提言してきました。

来年度も積極的に会議内容、取組状況等を発信して共有化を図っていくこと、「やましろ授業スタンダード」等や実践事例集、「家庭学習を充実させる取組」推進リーフレットについて、その活用を促進していくことを確認しました。

○「山城地方教育実践フォーラム」については、「山城地方の具体的な実践から学ぶ」趣旨で宇治市立槇島中学校・大久保小学校を会場に小中別日に実施しました。来年度は、城陽市立深谷小学校・東城陽中学校を会場に11月20日（金）に実施すること、公開授業や全体会等、詳細については、より効果的な内容を目指し、検討していくことを確認しました。

○「山城地方学力向上を目指す教育実践交流会」については、来年度も管内小・中学校による実践発表、具体的な授業実践（VTR）をもとにした交流協議を行うことを確認しました。授業VTRについては、久御山町立小・中学校に提供を依頼することを確認しました。